

# FUJIDRI-CHEM NEWS

富士ドライケムニュース



## CONTENTS

- **【導入レポート】** ・ウイルスや細菌検出の高感度化を実現した「富士ドライケムIMMUNO AG1」が検査や診断の迅速化に寄与……2
- **【INFORMATION】** ・第66回 日本医学検査学会 66<sup>th</sup> JAMT CONGRESS 2017 CHIBA……4

- ・第27回 日本外来小児科学会年次集会 リエゾン -Liaison- 多職種の限りない連携を目指して……4
- **【TOPIX】** 第32回 日本環境感染学会総会・学術集会共催 ランチョンセミナー開催報告……5
- **【ご連絡】** 平成29年度 日臨技臨床検査精度管理調査に参加されるお客様へ……6

【導入レポート】

定性免疫分析装置——富士ドライケム IMMUNO AG1  
臨床化学分析装置——富士ドライケム NX500

## ウイルスや細菌検出の高感度化を実現した「富士ドライケム IMMUNO AG1」が検査や診断の迅速化に寄与

埼玉県川口市で内科、皮膚科を中心とした診療を行い、臨床検査専門医でもあるかがやきクリニック川口の腰原公人院長に「富士ドライケム IMMUNO AG1」の導入の経緯や有用性などについてお話をうかがった。



かがやきクリニック川口 院長  
腰原公人先生

——かがやきクリニック川口の開院の経緯と特徴は。

**腰原先生** 2010年に東京医科大学病院を退職した後、市中病院、介護施設などで診療を行う中で“全人的な診療”、すなわち病気を診るのではなく人を診ることで患者さんに満足していただくような診療ができればという想いで開業しました。

当院は内科と皮膚科を中心とした診療を行うと共に、大学病院で臨床検査の研究を行っていた経験を生かして臨床検査科を設置し、検査を有効に活用して、その結果を正しく評価していけるように研究しています。また、認知症の診療にも力を入れていて、他の市から来院される患者さんもいらっしゃいます。

### ドライケムを使用すれば その場で迅速に診断できる

——IMMUNO AG1(以下、AG1)とNX500を導入した経緯は。

**腰原先生** 病棟では経過を見ていけば、ある程度診断



### かがやきクリニック川口

診療科  
内科、皮膚科、臨床検査科、訪問診療、  
物忘れ外来、物忘れサポート外来

がつけられるケースもありますが、外来ではその時にその場で最低限の診断をつける必要があります。短時間の診察で診断をつけるためには迅速に検査が行える装置が重要になる。そのように考えて、開院時にAG1とNX500を導入しました。

——AG1が有用だと感じた症例は。

**腰原先生** 一般的なインフルエンザの検査キットを使用すると、発症して6時間程度では陽性が出ません。そのため、他院で検査を行わなかったという患者さんが、その後すぐにいらっしゃった時でもAG1では陽性が出た症例がありました。また、患者さんから「まだ発症してから半日も経ってないから出ませんよね」と聞かれた時でもAG1で陽性が出たこともあり、感度の高さを実感しています。

マイコプラズマでは、AG1を入れる前に「咳が長引いている」という男性がいらっしゃって、X線検査を行ったところ軽い影があり、NX500で検査をするとGOTとLDHが少し上がっていたため、マイコプラズマを疑って治療を始めました。その後、AG1のマイコプラ



ズマ抗原キットを導入してすぐにその男性の奥様がいらっ  
しゃって、AG1で検査を行うと陽性が出たという症例があ  
りました。ご主人の時は「おそらくマイコプラズマでしょう」  
と説明しましたが、奥様に自信を持って「マイコプラズマで  
す」と説明できた時はAG1を導入して良かったと感じまし  
たね。また、当院では院内に導入している検査装置をウェブ  
サイトに掲載していて、それを見た方が「検査してください」  
といういらっしゃって、検査を行ったら陽性が出たという症  
例もありました。

——NX500の使用方法は。

**腰原先生** 肺炎や腎不全、肝不全などはパターン化を行  
い、セット項目を作成しています。普段からよく使用するの  
は、GOT、GPT、LDH、CPK、BUNです。少し調子が悪い  
という場合でもNX500で検査をすれば、その場で原因が  
分かることもありますし、プラズマフィルター（PF）によ  
って全血をセットするだけで検査でき、遠心分離をかける手  
間もないというのは非常に良いですね。

——NX500が有用だと感じた症例は。

**腰原先生** 歩いて来院された患者さんが「少し胃が気持  
ち悪い」とおっしゃっていて、心電図検査を行うとSTが上  
昇している。さらにNX500で検査を行うとGOT、LDH、  
CPKが上昇していたため、心筋梗塞と診断して、急いで大  
きな病院に送った症例がありました。また、「胸が痛い」と  
来られて、熱発があり、心電図でも波形変化が見つかった  
ので、NX500で検査を行い、GOT、CPKが少し上昇して  
いたので、急性心筋炎が見つかったというケースもありま  
した。さらに、絞扼性イレウスでもX線検査では分かりませ  
んが、NX500を使用すればLDH、CPKの上昇が確認で  
き迅速な診断につなげられたと感じています。

——富士ドライケムを用いた迅速検査に対する患者さん  
の反応は。

**腰原先生** 肝機能について、その日のうちに結果を出す  
「えっ、もう出たんですか」と驚かれたこともあり、結果が出  
る早さには好評をいただいています。



検査室 AG1、NX500など検査装置が配置され、迅速な検査を実施されている。



## 検査で正しい診断を導く POCTは診断に欠かせない

——クリニックにおけるPOCTの重要性は。

**腰原先生** 外来診療では診断が重要になりますので、そ  
こで検査一つひとつを採算で測ることはできません。患者さ  
んに正しい検査を行って、正しい診断に導く。そうすること  
で信頼関係が築けます。したがって、外来では特にその場  
で迅速に検査ができることが重要だと考えていますし、診  
断において検査が占める重要性も併せて考えると、POCT  
が診断に欠かせないものであることは間違いありません。

——今後のPOCTに期待することは。

**腰原先生** クラミジアはぜんそくや慢性閉塞性肺疾患を  
悪化させると言われていますが、きちんとした診断がつ  
いていないのが実情です。もしドライケムで迅速に検査  
できれば、しっかりと診断できるのではないかと考えてい  
ます。また、耐性菌の問題で抗生剤を減らしていくため  
には、風邪なのか風邪ではないのかという診断をきちんと  
つける必要があります。現在、風邪症候群の原因である  
インフルエンザウイルスやアデノウイルスはドライケム  
で検査できますが、ライノウイルスやコロナウイルスな  
ども検査できれば unnecessary 抗生剤使用を減らせると考  
えています。